

目黒清掃工場建替工事の概要

平成 29 年 6 月

東京二十三区清掃一部事務組合

- 1 件 名 目黒清掃工場建替工事
- 2 目 的 目黒清掃工場の建替事業は、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、循環型ごみ処理システムを構築するための施設整備の一環として、既存の目黒清掃工場の建替えを行う。
- 3 工事場所 東京都目黒区三田二丁目19番43号
- 4 敷地面積 約29,000m²
- 5 契約の相手方 JFEエンジ・清水建設特定建設工事共同企業体
- 6 契約金額 ¥51,470,640,000.-
(うち消費税及び地方消費税相当額 ¥3,812,640,000.-)
- 7 工 期 平成29年6月27日から平成35年3月15日まで

建替工事工程

年度	平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度				平成33年度				平成34年度			
事業	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
建替工事	契約																				しゅん工			
	実施設計																							
	解体工事																							
	建設工事																				試運転			

- 8 基本方針
- (1) 基本コンセプト
地域に溶け込み、親しまれる清掃工場
- (2) 施設計画方針
- ア 地域との調和
 - イ 環境との共生
 - ウ エネルギーの有効活用
 - エ 地域への貢献

9 建築計画

	現工場	新工場
工場棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上5階 地下3階 高さ 約27m 深さ 約10m 建築面積 約8,500m ² 延床面積 約16,700m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上5階 地下3階 高さ 約24m 深さ 約20m 建築面積 約9,500m ² 延床面積 約27,000m ²
管理棟	鉄筋コンクリート造 地上3階 高さ 約14m	鉄筋コンクリート造 地上3階 高さ 約14m
付属施設	計量棟、洗車棟等	計量棟、洗車棟等
煙突	外筒:鉄筋コンクリート 内筒:鋼製 高さ 約150m	外筒:鉄筋コンクリート 内筒:ステンレス製 高さ 約150m

10 プラント計画

	現工場	新工場
施設概要	全連続燃焼式火格子焼却炉 焼却能力 600トン/日 (300トン/日・炉×2基)	全連続燃焼式火格子焼却炉 焼却能力 600トン/日 (300トン/日・炉×2基)
排ガス 処理設備	ろ過式集じん器、洗煙設備、 触媒反応塔	ろ過式集じん器、洗煙設備、 触媒反応塔
発電能力	11,000kW	約21,000kW
余熱利用	目黒区施設(田道ふれあい館)へ 高温水供給	目黒区施設(田道ふれあい館)へ 高温水供給

11 環境保全

(1) 大気汚染防止

排ガス条件

	現工場	新工場
ばいじん	0.02g/m ³ N以下	0.01g/m ³ N以下
硫黄酸化物	20ppm以下	10ppm以下
窒素酸化物	70ppm以下	50ppm以下
塩化水素	15ppm以下	10ppm以下
水銀	—	30 μg/m ³ N以下
ダイオキシン類	1ng-TEQ/m ³ N以下	0.1ng-TEQ/m ³ N以下

注) 酸素濃度12%換算値

(2) 水質汚濁防止

施設排水は、下水道法による排除基準に適合させ公共下水道へ放流する。

(3) 騒音・振動防止

施設の騒音・振動発生機器等は極力屋内に配置し、防音・防振対策を行う。清掃車等の騒音対策として、周回路の一部に覆い(覆蓋)を設ける。

(4) 臭気対策

ごみバンカ内の空気を燃焼用空気として使用し、熱分解により臭気を取り除くほか、エアカーテン、自動扉、脱臭設備等により臭気対策を行う。清掃車等は、自動洗車装置により洗浄を行う。

12 解体計画

既存建築物(工場棟、管理棟、煙突、付属施設)を解体・撤去する。工場棟及び管理棟は全て覆い、地上部・地下部の解体を行う。

全覆いテント設置例(杉並清掃工場建替工事)



解体前



テント設置

13 建設計画

(1) 建築物

建築物の外観意匠は、緑豊かな環境と一体となる「緑との調和」及び「地域住民の憩い」となるデザインとする。また、工場棟は、既存のものより高さを低くし、圧迫感を軽減する。

(2) 煙突

外筒は、周辺環境と調和するよう、目黒区景観計画に記されている景観形成基準に基づいた色彩計画とする。

(3) 緑化計画

計画地が住宅地・小学校・官庁施設・河川等に囲まれていることから、敷地境界部に樹木を適切に配置する。また、工場と周囲の住宅地とを分離する既存の緩衝緑地を整備するとともに、施設の屋上緑化及び壁面緑化も積極的に行う。

さらに、既存樹木を可能な限り保全させるとともに、高木を適切に配置し工場の圧迫感を軽減するように配慮する。

(4) 地域防災への対応

災害時は、工場内の非常用発電による電力及びトイレを一時避難者に提供する。



图-1 完成予想图

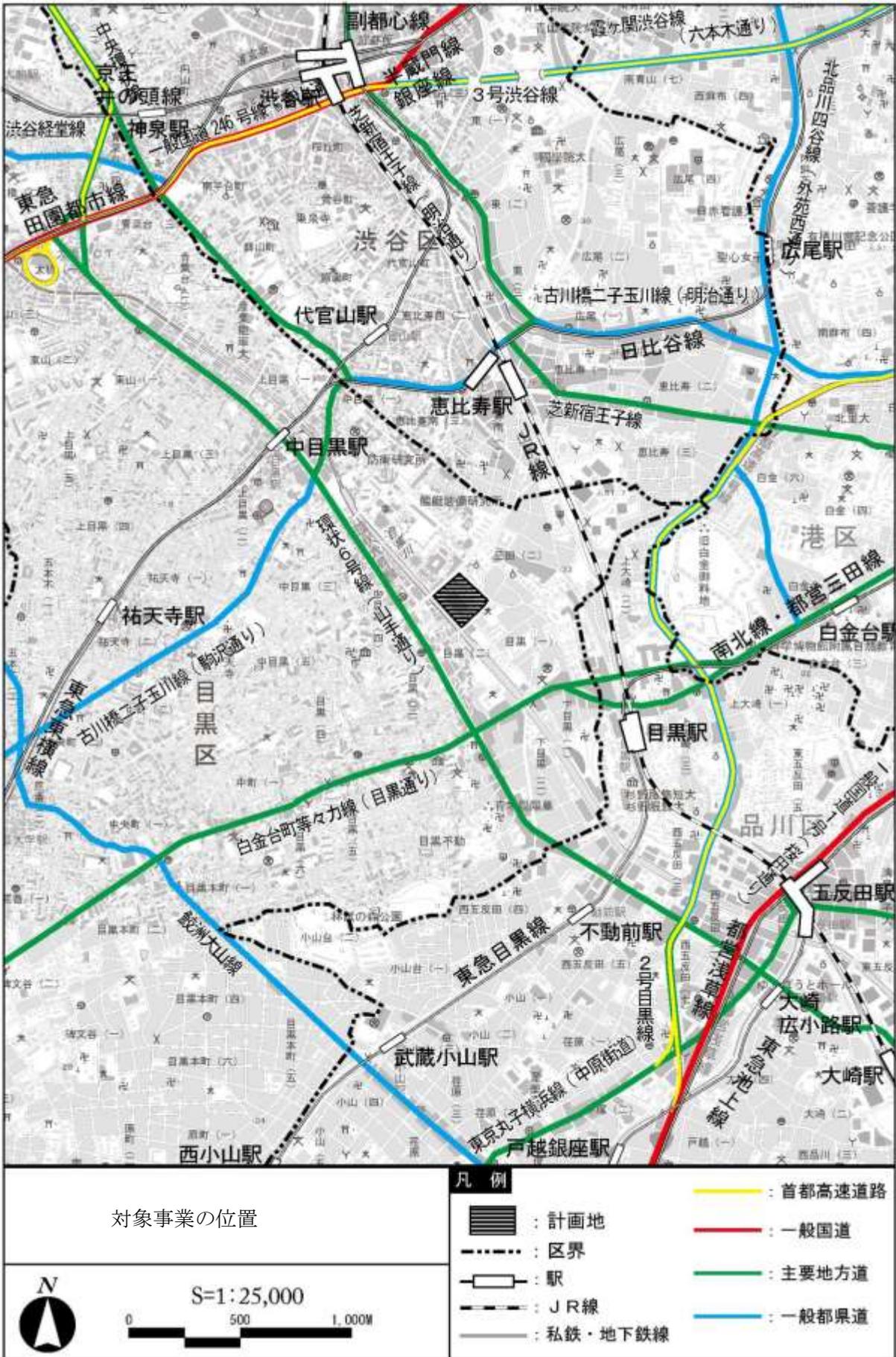


図-2 目黒清掃工場周辺状況図

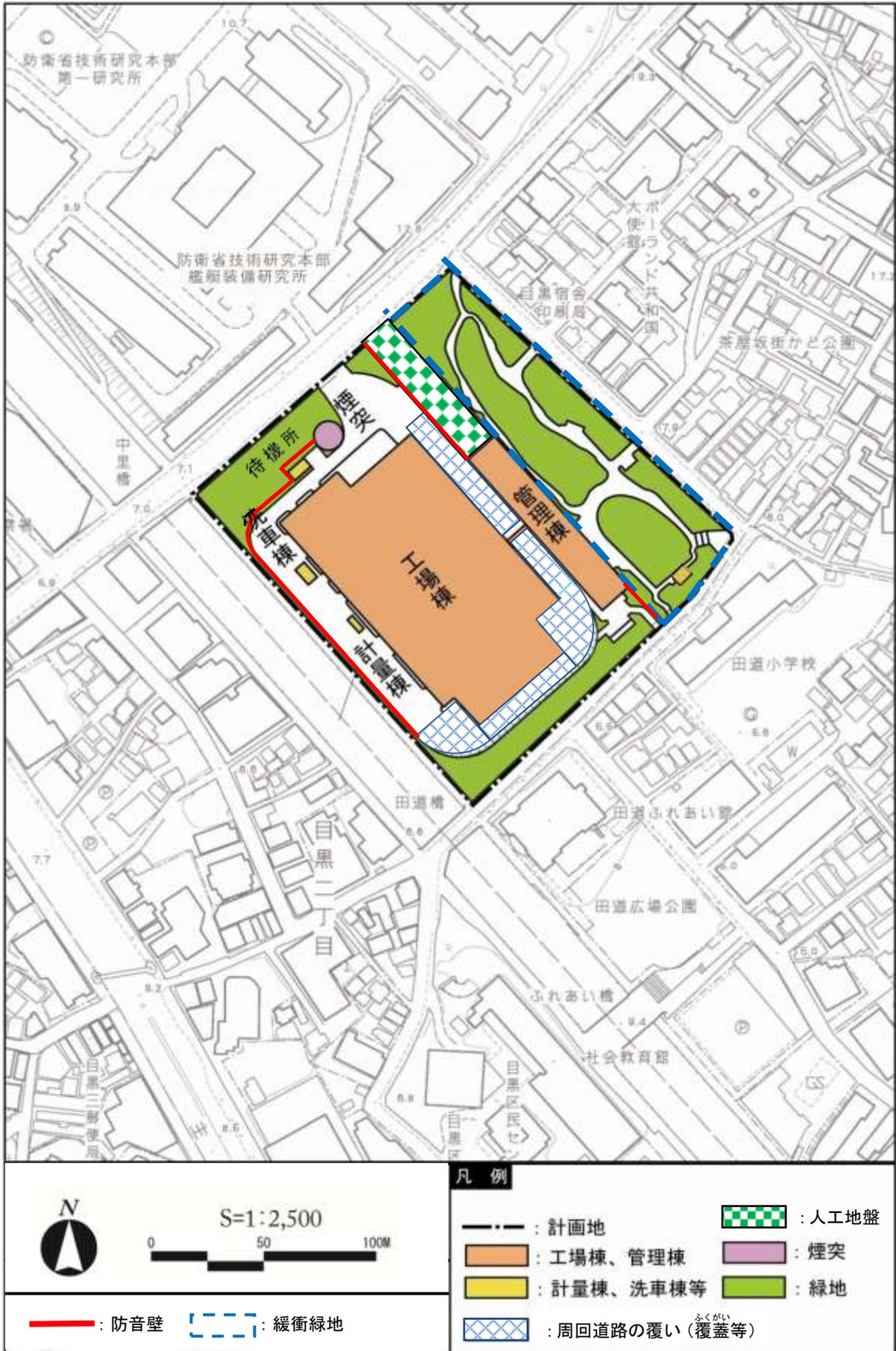


図-3 施設配置計画図

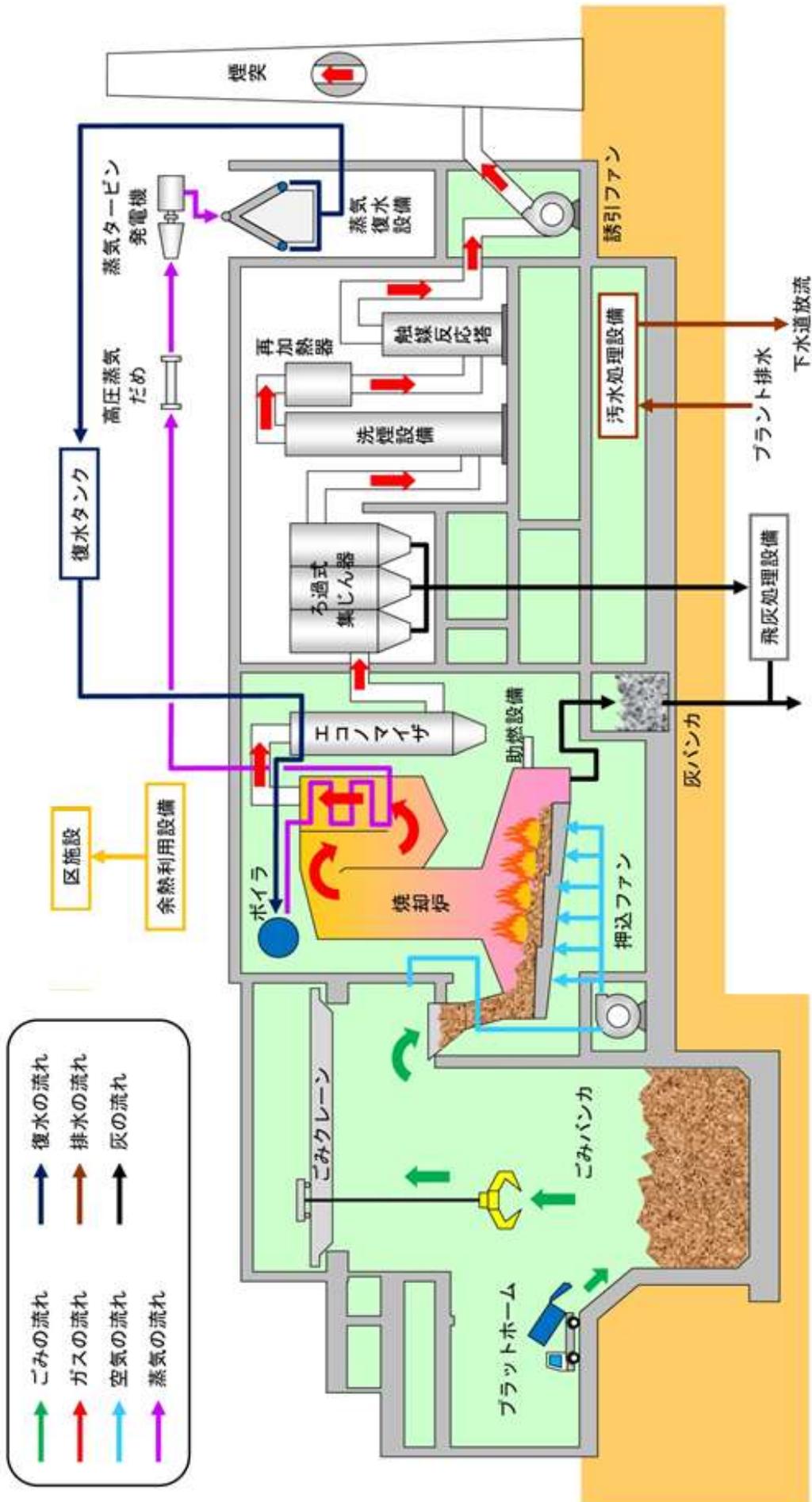


図-4 全体フロー(模式図)